

三島市スポーツ推進審議会議事録

会議名	令和4年度第2回スポーツ推進審議会
日時	令和5年2月8日（水）午後7時00分～8時00分
会場	三島市民体育館2階大会議室
出席者	委員：高原委員、斉藤委員、小野委員、足立委員、今野委員、中村委員、荻野委員、西島委員、前田委員、石井委員、高橋委員、猪浦委員、山本委員 事務局：臼井部長、勝又課長、齊藤主幹、入江主査
傍聴人	なし

議事録

- 1 会長あいさつ
- 2 健康推進部長あいさつ
- 3 議事 本日の議事録署名人を指名

(1) 令和4年度事業の進捗状況について（報告）

◆事務局からの説明

令和4年度の各種事業について、2月現在までの進捗状況の説明を行った。

◆質疑・応答

特になし

(2) 令和5年度事業について（報告）

◆事務局からの説明

令和5年度的主要事業計画について説明を行った。

◆質疑・応答

委員・・・小学校のプールを夏休みに開放するというのはどうか。他市町では開放している事例もあるようである。学校はプールを貸し出し、運営は委託先が行うということもできるのではないか。

事務局・・・学校プールの解放については検討したことがあるが、委託でプール事業を行う場合には、警備業の認定が必要になり、民間企業の参入ハードルが高くなるようである。警備業の認定を受けずにプール事業を行うには学校プール施設の指定管理が必要になる。

委員・・・障がい者スポーツ指導員資格取得に対し補助金を出している三島市の取り組みは他市ではあまり見られないので評価できる。スポーツ推進委員がボッチャ教室で指導することや、パラスポーツ用品を整備することなど、障がい者スポーツの取り組みが積極的であるように感じる。一方で、障がい者スポーツへの理解はまだ足りないと思う。各競技において、健常者の中に、障がい者が一緒にいてスポーツができる環境が理想である。静岡はスポーツができる環境は整っていると思うので、育成や発掘にも力を入れていけるとよい。選手を育成するには指導者の育成も必要である。まずはやってみよう動き出すことが大事であり、障がい者スポーツを福祉担当課で行うのではなく、スポーツ担当課で行っている三島市の取

り組みは成功事例であると思う。障がい者の活動が広がることで、健常者の活動も活性化していくことを期待している。

委員・・・健常者の中に障がい者が一緒にいるというのは重要なテーマである。ドイツではスポーツ連盟の副会長の一人は障がい者の担当となっており、障がい者が健常者と一緒にスポーツができる環境が整っている。日本はまだそうになってはいないので、今後大切な視点である。スポーツ協会としても取り組んでいきたい。

事務局・・・3月にスポーツ推進委員が主催するボッチャ交流大会は障がいの有無、性別、年齢に関係なく参加できる大会となっており、これまでの三島市にはない初の大会である。

<閉会>